

第6回護岸整備懇談会の開催結果概要(案)

| 開催概要 | |
|--|--|
| 日時 | 平成28年11月22日(火) 17時00分～18時15分 |
| 場所 | 千葉県国際総合水泳場 会議室 |
| 参加者数 | 27名 |
| 出席委員 | 6名 (◎遠藤茂勝、工藤盛徳、石井洋祐、及川七之助、歌代素克、米山芳昭) ◎：座長 |
| 結果要旨 | |
| ◇報告事項 | |
| <p>第5回護岸整備懇談会の開催結果概要</p> <p>事務局から資料1により説明後、質疑応答。 [主な意見及び対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし | |
| ◇議題 | |
| <p>〇2丁目200m区間の工事着手から1年後のモニタリング調査と検証・評価</p> <p>事務局から資料2により説明後、質疑応答。 [主な意見及び対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料内に「重要種のウネナシトマヤガイは確認されなかった」と記述してあるが、これは何を意味しているか。 ⇒目標達成基準ではないが、900m区間の検証基準となっていたため、参考として記述している(事務局) ・護岸の石が場所によっては、下がっているところがあるがどうか。 ⇒あまりに沈下が大きところは、今後確認していきたい。(事務局) ・青潮の発生状況が従来と違う状態での発生が多く見られている。 そのことを考えると、生物が残っていたほうだと感じる。 ・平成23年の夏から25年の春まで、生物の出現種数が多い気がするが、何か環境の変化はあったのか。 ⇒特段の環境の変化はない。(事務局) ・塩浜1丁目側の護岸の前面に、過去に砂を入れたが、生物調査は実施しているのか。 ⇒塩浜1丁目側の測線1工区で調査を実施しており、生物も出現している。(事務局) | |
| ◇その他 | |
| <p>〇行徳湿地暗渠管</p> <p>事務局から資料3により説明後、質疑応答。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行徳湿地内の暗渠管はどうなるのか。 ⇒海岸事業では、護岸を作るために影響する部分について、機能補償を行う。 暗渠管内部については、施設管理者と調整する。(事務局) ・現状の暗渠管には、ゴミが多く入っているが、どのようにメンテナンスするのか。 ⇒マンホールを設置し、中に人が入れる構造にすることを検討している。(事務局) ・三番瀬ミーティングでは、今後護岸の砂付けは行わないとされた。浚渫土砂を深掘れ箇所に入れることも良いが、砂付けも検討していただきたい。 | |